



さいとう よしのぶ  
齊藤 好信 議員

# 食料品等を扱う企業を誘致する考えはないか

町長 事業として成り立つかどうか検証する必要がある

## 商業振興と買い物利便の向上について

**質問** 商店の廃業対策の進捗状況と商業振興に対する町長の見解を伺います。

また、私は昨年の第2回定例会において、買い物に支障をきたす住民の利便性を図るための、配送システムの提案に対し、「必要性を感じている」との答弁をされたが、その後の進捗状況も併せて伺います。

**町長** 中小企業における事業承継に関する意向の把握や企業評価に対する支援制度の創設、就業促進に取り組んでいます。また、事業承継を希望される事業者には、中小企業振興基本条例に基づく支援を実施しています。

**再質問** 町長の答弁を聞いてみると、具体的な取り組みが見えませんが、食料品を

扱う店が現在2店のみで、地域によっては非常に不便さを感じています。もっと踏み込んだ取り組みを行う考えはありませんか。

**町長** 町が、直営で開設して運営するわけにはいきません。事業者の方々のチャレンジ、努力が必要になってくるとは思いますが、いざれにしても、消費人口が減少する中で、どういう対応策ができるのかというのは常に念頭に置きながら、担当とも協議をしながら進めていきます。

**再質問** 外からの力を借りて、例えば道内でチェーン店を展開する企業の誘致などを検討する考えはありませんか。

**町長** 事業者が出店し、果たして収支が合うかどうかという課題も出てきます。一つの事業として成り立つ

かどうか、しっかり検証していく必要があり、買い物弱者や買い物難民と言われている方々を少しでも支えていく事ができたらと考えています。

## 農業実習生の確保と支援について

**質問** コロナ感染症対策の入境制限に伴い、本町においても、農家にとつては重要な農作業の担い手である中国人等の実習生が来られずご苦労されました。

町としても側面から、実習生の確保と支援を考慮しておくべきと思うが、町長の見解を伺います。

**町長** 入境制限が解除された場合には、速やかに対応できるよう、受け入れ協議会、北はるか農協下川支所と連携を取りながら受け入れ支援を進めてまいりたいと考えています。また、安

定的に外国人技能実習生を受け入れることのできる環境づくりは大変重要であります。

**再質問** 施設園芸のトマト栽培農家に来られる技能実習生が通年で研修が受けられる取り組みとして、冬期間、町の施設である特用林産物研究所で研修を受けるという考えはありませんか。法的には同じ農業分野での職種変更は可能となります。

**町長** 特用林産物研究所についてはNPO法人に雇用の面を担っていただいているので、町として簡単に回答はできません。

現実には冬期間だけ外国人技能実習生を雇用するという考えはないが、情報収集や、事業者の方々のニーズというのをしっかり把握してまいりたいと思います。